

ゴーゴン・プロジェクトLNG売買契約締結について

記者各位

当社（社長：木村康）は、このたび米国シェブロン社のオーストラリア子会社（以下「シェブロン社」）との間で、ゴーゴン・プロジェクトにおいて生産されるLNG（液化天然ガス）の売買契約（SPA：Sale and Purchase Agreement）を締結いたしましたので、お知らせいたします。

ゴーゴン・プロジェクトは、シェブロン社をオペレーターとして、西オーストラリア州で開発が進められているLNGプロジェクトであり、2014年から供給が開始される予定です。

当社とシェブロン社は、2009年12月に、年間30万トンのゴーゴンLNGを2015年（予定）から15年間に亘り売買することについて基本合意しており、以降詳細条件の協議を進め、この程合意に達しました。なお、本契約は、当社がLNG買主として初めて締結する長期契約となります。

当社は、ゴーゴンLNGを、青森県八戸市で建設を進めている「八戸LNGターミナル」（2015年4月運転開始予定）にて受入れ、そこから産業用を中心に天然ガス・LNGの需要増加が見込まれる北東北地域ならびに新設する釧路LNGターミナル（2015年4月運転開始予定）を通じて道東地域へ供給する予定です。

当社は、今後とも環境特性に優れた天然ガス・LNGの普及と、その事業展開を通じた地域振興に貢献してまいります。

記

1. 売買契約書の概要

- (1) 売主 : シェブロン・オーストラリア社 (Chevron Australia Pty Ltd) および
シェブロン (TAPL) 社 (Chevron (TAPL) Pty Ltd)
- (2) 買主 : JX日鉱日石エネルギー株式会社
- (3) 締結日 : 2011年5月9日
- (4) 契約期間 : 2015年（予定）から15年間
- (5) 契約数量 : 30万トン／年
- (6) 受渡条件 : 着船渡し (Delivered Ex Ship)

2. ゴーゴンLNGプロジェクトの概要



- (1) ガス田位置 : オーストラリア西オーストラリア州北西部沖合
- (2) 液化基地予定地 : バロー島
- (3) 液化設備能力 : 1,500万トン／年 (500万トン×3系列)

- (4) 生産開始時期 : 2014年(予定)
- (5) 参加企業 : シェブロン 47.333%、エクソンモービル 25%、シェル25%、大阪ガス 1.25%、東京ガス 1.0%、中部電力 0.417%

3. 北東北地域ならびに道東地域における天然ガス・LNG供給イメージ



以上